



卓球

ぜんこくしょうがいしゃ
全国障害者
たいかい
スポーツ大会
パラリンピック

身体障がい者と知的障がい者がプレーします。全国障害者スポーツ大会では、精神障がい者も参加が可能です。通常の卓球と同じボールやラケットを使用し、男女別に障がいの種類や程度に分かれて順位を競います。



使用する用具は
一般の卓球と同じ

ルール

通常の卓球とほぼ同じですが、肢体不自由者や知的障がい者については、ラケットを持っていない手がコートに触れても失点としないことや、サーブの規定を緩和できるなど、ルールが工夫されています。



サーブの様子

豆知識

要約筆記とは？

聴覚障がい者のために、その場で話されている内容を即時に要約して文字にして伝えることをいいます。



要約筆記の様子

ポイント

車いすを使用する選手の場合は、障がいを考慮して一部ルールが変更されています。

① 卓球台のルール

卓球台のサイズは通常と同じですが、卓球台の下に足をいれてプレーできるように、卓球台の脚とエンドラインは40cm以上離れています。

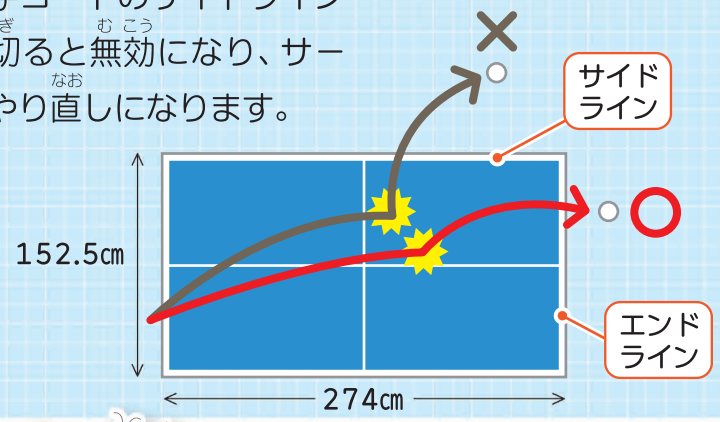


エンドライン

台の脚と
エンドラインは
40cm以上
離れている

② サーブのルール

相手コートのサイドラインを横切ると無効になり、サーブはやり直しになります。



サイドライン

エンドライン



ちょっと休憩

卓球は1960年のパラリンピック第1回ローマ大会から行われているよ。日本人がパラリンピック(1964年の東京大会)で初めて金メダルを獲得した競技なんだよ。

